

高知くらしの護身術

150

暖房器具の事故

リコール製品の確認を

(2009年11月24日掲載原稿)

寒くなり暖房器具での事故が心配な季節になりました。暖房器具の事故例や使用時の注意点をお知らせします。

最近では数年前に人気を集め、部分暖房器具として急速に普及したハロゲンヒーターの事故が目立っています。

- 事例① 2年前購入のハロゲンヒーターをいつものように使用中、突然破裂した。
- 事例② リサイクル店で購入したハロゲンヒーターが火元で自宅が全焼、全て燃えてしまったため製品名等は不明。
- 事例③ 13年前に購入の石油ファンヒーターの炎が大きく強くなり制御できない状況になった。
- 事例④ 石油ストーブを消したつもりが火種が残っていたため不完全燃焼を起こし気分が悪くなった。
- 事例⑤ 10年ほど前に購入したホットカーペットのスイッチを入れて2時間後にバチバチ音がしてコンセント付近のコードから発火し焼け焦げが出来た。
- 事例⑥ コタツを一番強くして利用していたら膝が赤くなりやけどした。購入時は知らなかったが、ハロゲンヒーター式のコタツであった。

長く使用を続けている暖房器具は経年劣化で発煙・発火などの事故が起きやすくなります。事故を防ぐためには、時々点検を行い、性能が維持できなくなったものは使用をやめましょう。

温風の吹き出し口やヒーターに近づき過ぎるとやけどを起こします。また、スプレー缶を置いたり使用したりすると破裂・引火などの危険がありますので注意しましょう。

電気カーペットやコタツで低温やけどを負わないために、体の一箇所が長時間触れないようにしましょう。就寝用暖房器具としての使用は避けましょう。

暖房器具のリコールなどが頻繁に報道されています。該当製品ではないか時々チェックしましょう。